

令和6年度学校評価報告書（定時制課程）

令和7年（2025年）3月12日

北海道教育委員会教育長 様

北海道北見北斗高等学校長

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

社会の中で必要なコミュニケーション力を身に付けるため、生徒の個性や持ち味を尊重しつつ、北見北斗高校定時制（北定）らしい協働的な学びの一層の充実を目指す。
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
主体的な学び （学びの「態度」） ＜1 基礎力、4 キャリアプラン ニング能力＞	・基礎力の育成については、達成状況・取組の適切さともに概ね十分である。 ・卒業後も継続的に社会と向き合って生きる姿勢の育成には取組は概ね適切であるが、達成状況にはやや課題がある。	・自己評価の適切さについては、適切との評価をいただいた。 ・改善に向けた取組の適切さについては、ほぼ適切との評価をいただいた。 ・実態をふまえた実現可能な改善策の具体化と生徒が社会に出て困らない教育を期待する。
対話的な学び （学びの「方法」） ＜3 説明力、6 共感力、7 規律力、8 協働 力＞	・ICTの活用、コミュニケーション能力の育成、自律や他者の尊重などについては、達成状況・取組の適切さともに概ね十分である。	
深い学び （学びの「深さ」） ＜2 調査検討 力、5 向上力＞	・個に応じた指導や観点別評価については、達成状況にやや課題があるものの取組の適切さは概ね十分である。 ・探究活動については達成状況・取組の適切さともに概ね十分である。	
改善方策	●生徒の基礎学力の定着のため、教科指導の工夫や個別最適化の学習など授業改善に努める。 ●進学希望者の増加をふまえ指導の在り方について検討する。 ●「総合的な探究の時間」は対話力向上に効果的であり、これを活用したキャリア学習の充実に努める。 ●様々な教育活動でICTの利活用が工夫されつつあるので、さらに効果的な利活用の研究を進める。 ●授業改善と学習評価の一体化について、継続して研修するとともに観点別評価について見直しを図る。 ●年3回の面談週間や教育活動のあらゆる機会を活用し、教育相談を充実させるとともに望ましい人間関係の構築に努める。 ●「総合的な探究の時間」やアルバイトなどを通し、社会とのつながりを意識したキャリア学習の充実に努める。	
校内組織	・働き方改革、機能的・効率的な学校運営、いじめ・不登校、問題行動、特別な支援等の体制構築については達成状況、取組の適切さともに概ね十分である。	・自己評価の適切さについては、ほぼ適切との評価をいただいた。 ・改善に向けた取組の適切さについては、ほぼ適切との評価をいただいた。 ・いじめを他人事とすることのないのは素晴らしいことで、その姿勢を今後も継続してほしい。 ・改善の方策が記載どおりに進むことを期待している。
教職員	・心理的安全性と同僚性において職場環境の構築や法令遵守、服務規律の保持や教職員の資質能力を高める研修については達成状況・取組の適切さともに概ね十分である。	
地域連携	・情報の発信や地域からの信頼や学校関係者をはじめとする地域連携による教育活動の充実にについては達成状況・取組の適切さともに概ね十分である。	
改善方策	●教職員の業務の平準化をさらに進め、機能的で効率的な校内組織の構築を進める。 ●特別な配慮が必要な生徒など多様な生徒に対応できる生徒指導や教育相談のスキルを高める研修の充実に努める。 ●いじめの認知件数は1件。 「いじめは絶対に許さない」という姿勢で組織的対応を充実させるとともに、教育相談の機能の充実に努める。 ●職員の同僚性を高めるとともに教育公務員としての自覚と責任を高める研修を充実させる。 ●地域の教育資源の活用について前例踏襲を改め、生徒の実態や要望等をふまえた活用を図る。 ●生徒会活動を始め生徒の主体的な活動の支援に努め自己有用感を高める機会を増やす。	
公表方法	学校評議員会、定時制教育振興会役員会等での資料配布、学校webページへの掲載	

3 添付資料

- (1) 自己評価票
(2) 学校関係者評価票